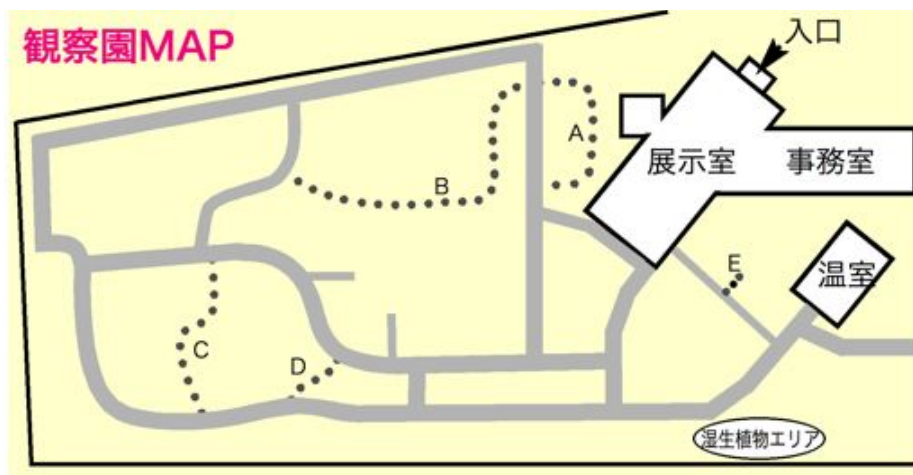


総延長65m! 石狩浜海浜植物保護センター観察園に新たな観察路完成!

新しい観察路で、たくさんの植物と出会おう



新観察路Cの中間地点からシンボル塔を望む。今までになかったアングルで見る観察園は新鮮です。

海浜植物保護センターの裏に広がる観察園は、石狩浜に自生する海浜植物が集められた植物園です。コンパクトな敷地を一周するだけで石狩浜の植物の多くを間近に観察でき、一般の方はもちろん、環境教育の場としても好評いただいています。今回、さらに利用しやすいように、総延長65mにおよぶ観察路の大幅拡充を図りました。上図の点線で示したところが新設ルートで、すべてウッドチップを敷設した柔らかな道です。

今まで遠くから眺めるだけにとどまっていた、たくさんの植物に近づけるようになり、観察ポイントが倍増しました。観察園の植物は基本的に触れることもOKですので、じっくりと観察を楽しんでください。また、新たな視点で眺める観察園は、きっとお気に入りのアングルが見つかると思います。カメラを片手に観察園を巡ると楽しさがアップすることでしょう。ぜひ、新しい観察路を体験しにお出かけください。

なお、図中のルートEは、特にコウボウムギの観察用に設置しました。特徴的な雌株の形態などお楽しみ下さい。

ルートA



新観察路Aはシンボル塔のすぐ下に設置した延長17mの歩道です。エゾカワラナデシコ、ハマハタザオ、ヤナギタンポポなど季節によって見応えのある観察ができます。

ルートB



延長28m。今回設置した中では最長の観察路Bは、踏み分け道が途中まであったものをさらに開削して設置。エゾカワラマツバ、ハマナス、ツルウメモドキ、ユウゼンギクなどが楽しめます。

ルートC



このエリアではエゾスカシユリ、カセンソウ、エゾカワラナデシコなど華やかな花が観察できます。延長は13mですが、高低差が適度にあり、視点の変化も楽しめます。

ルートD



延長6mと短いですが、このルートができたことで、園内の移動が非常にスムーズになりました。向こう側からはどんな風に見えるか、視点の移動を試してみるととても面白いですよ。

はまなすの香りに注目した企画が好評を博し、新企画の「宝探し」には参加者が殺到！

第4回はまなすフェスティバルを開催しました

8月16日（土）、海浜植物保護センターにて、第4回はまなすフェスティバルを開催し、多くの方に来場頂き盛況のうちに終える事ができました。

今年は、はまなすの「香り」を特集テーマに、企画づくりを行いました。例えば、ハマナスの香り体験コーナーでは、ハマナスの蒸留と香りを体験してもらったり、「ハマナスの香りを科学する」と題したミニセミナーも開催しました。他にも様々な企画があったのですが、今年初めて開催した「宝探し大会」は予想を超える人気がありました。なんと、70名以上の参加があり、嬉しい誤算となりました。これは、簡単な謎解きをしながらか観察園や再生園を巡ってキーワードを集め、ゴールとなる再生園の区画で、砂に埋めてある貝殻を探してもらうというものです。

思った以上に砂の中から貝殻を探し出すのは困難でしたが、見つけた時の喜びはひとしおです。家族での参加も多く見られ、楽しい宝探しとなりました。プレゼントは、ハマナスを使った商品の詰め合わせや、特製の缶バッジを用意しました。



多くの来場者で賑わう会場



宝探し会場は大盛り上がり！

今年は石狩海浜植物保護センターが多くのマスコミに取り上げられています！

全国放送のニュースほか多数の媒体に登場

今年は海浜植物保護センターが多くのマスコミに取り上げられています。ハマナスの再生活動を追ったNHKの取材が2回あり、はまなすフェスティバルも紹介されました。また、市内で公開収録があった俳句の番組でも、ハマナス関連で事前にテレビカメラが入りました。また、JR北海道の車内誌や朝日新聞のコラムでも保護センターが紹介されました。



NHK北海道つながるきたカフェ6/9



NHKニュースおはよう日本6/25



JR北海道車内誌8月号



NHK北海道つながるきたカフェ6/9



NHK俳句王国がゆく7/17



朝日新聞 7月15日付24面

企画展示報告

7月1日から31日まで、海浜植物保護センター展示室において、石川治さん制作のパネル展「はまなすの丘（石狩川河口砂嘴）」を開催されました。石川さんが何年もかけて自らの足で見つけた「はまなすの丘」の「愉しみ」。総計78枚の資料で紹介する驚きのパネル展は、田岡市長も足を運ぶなど、多くの人々に感銘を与えました。



なお、展示に使用された資料はすべてA3クリアファイルに収納して、展示ホールに備えてありますので、常時閲覧が可能です。



内容

- ① 砂嘴の形は日々動いている
- ② 浜崖の側面から顔を覗かせるもの
- ③ 流れ着いたキャラクターたち
- ④ さまざまな気象現象
- ⑤ 定点観察 - 浜崖が前進している..
- ⑥ そのほかのおまけ



制作者の石川治さん。調査フィールドのはまなすの丘公園入口にて。首にはGPSロガーを下げて、この日も調査に励まれました。

今年も親子連れで賑わいました！

夏休みミニ自然教室を開催



7月30・31日と8月6・7日（各土日）の計4日間、夏休み自然教室を開催しました。海辺の素材を使った壁かけ作り、押し花のしおり作り、観察園クイズラリーやガイドツアー、観察園から自分で好きな葉っぱや花を摘んできて、スタンプをしてハガキを作るコーナーもありました。多くの参加者が時間をかけじっくり取り組んでいました。また、今年新しく設置した「顕微鏡で見てみよう！」コーナーも人気があり、普段見慣れた植物や昆虫を詳しく見る事ができました。

一、観察園から自分で好きな葉っぱや花を摘んできて、スタンプをしてハガキを作るコーナーもありました。多くの参加者が時間をかけじっくり取り組んでいました。また、今年新しく設置した「顕微鏡で見てみよう！」コーナーも人気があり、普段見慣れた植物や昆虫を詳しく見る事ができました。

海浜植物を身近に感じてみよう！

図書館の海浜植物花壇を知っていますか？

石狩市民図書館の敷地には、海浜植物を多くの市民に知ってもらおうと「海浜植物花壇」を整備しています。石狩浜に行かずとも、代表的な海浜植物に触れることができますので、図書館を利用した際にぜひ、お立ち寄りください。



レポート

石狩浜の外来種

ヒキガエルバスターズin親船名無沼

『石狩浜自然史研究会報告』

アズマヒキガエル（以下ヒキガエル）は、本州では「ガマガエル」などと呼ばれ親しまれていますが、北海道にもともと生息しないカエルです。ところが、石狩浜の親船名無沼（石狩斎場南西側に位置）では、2011年より卵やオタマジャクシが観察され、2015年には、産卵にやってくる大量のヒキガエルが観察されました。「アズマヒキガエル」は、北海道の本来の生態系への影響が懸念される「指定外来種」に指定されており（北海道、2015※）、石狩浜では、特に希少種のイソコモリグモ、エゾアカヤマアリ、キタハウネンエビ等が捕食対象になる可能性も考えられます。



親船名無沼

そこで、生態系に影響がおよぶ前に、ヒキガエルの分布拡大を阻止しようと、今年、いしかり海辺ファンクラブや海浜植物保護センター、いしかり砂丘の風資料館が協力し合いながら、春に親船名無沼へ産卵にくるヒキガエルの防除に乗り出しました。

4月、ヒキガエルは冬眠から目覚めると、一直線に生まれ育った名無沼を目指して移動し、4月下旬には沼に入り産卵行動を始めます。産卵行動が始まると、沼からゲロゲロと、オスがメスを呼ぶ低い声が聞こえてきます。

■効率的な捕獲のコツ

<コツ1> オスがメスにしがみついた産卵中の状態のものがたくさんいる日を逃さないこと。この状態のカエルは、とても行動が鈍く、網のひとすくい、または手づかみ（軍手ははめます）で捕えることができます。

<コツ2> 産卵に集まるポイントを見つけることです。名無沼は沼周70mもありますが、この中に2か所（後からもう一か所あることを発見）あることを最初に確認し、そこで集中的に捕獲を行いました。

以上の捕獲のコツを早々につかみ、今年は170匹を捕獲しました。さらに、すでに生んでしまった卵塊の除去も行い、一時は、沼の卵をすべて除いたように見えた時もありました。しかし、自然界は甘くありません。産卵が終了したと判断し捕獲作業を終了した後も産卵に訪れるカエルがいたようで、6月には、沼を泳ぐ無数のオタマジャクシが観察されました。

果たして、石狩浜でのヒキガエルの分布拡大を防ぐことはできるのでしょうか？ 来年以降は、外来種に関する啓発や環境教育の一環として、捕獲の取り組みを続けていく予定です。

※北海道、2015.指定外来種の指定。 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/shiteigairaisyu01.htm>。 (2016.9.1閲覧)

(石狩自然誌研究会 内藤華子)



捕獲風景 捕獲したメスの上にオスが乗った状態のヒキガエル

9月17日(土) 8:45~12:00

自然観察会 ～秋の野鳥観察会～

いしかり調整池で水鳥や猛禽類などの野鳥を観察します。

集合：8時45分石狩市役所駐車場
(12時00分散散予定)

対象：小学4年生以上 (小学生は保護者同伴)

定員：30名 (先着順)

参加費：300円 (中学生以下100円)

申込み締切り：9月14日 (水)

主催：石狩市環境保全課・北海道石狩振興局

※このイベントの問合せ・申し込みは環境保全課
自然保護担当 (0133-72-3269)へお願いします。

9月24日(土) / 10月6日(木)
両日共11:00~12:00

石狩海浜植物保護センターミニ講座 「知ってる？石狩浜の自然の秘密」9/24 「外来植物について考える」10/6

海浜植物保護センターのスタッフが、上記テーマについて楽しく解説します。

会場：石狩海浜植物保護センター
展示室奥特設会場

●参加費無料

●申し込み不要

時間：11:00~12:00

9月25日(日) 10:00~15:00

はまなす広場 ～とことん秋のハマナスを楽しもう～

●入場無料

●会場：石狩海浜植物保護センター
クラフト体験やクイズラリー、ハマナスティー試飲など

★有料・ミニ講座 (要申込) ★

(1) ハマナスの実ジャム作り

時間：11時~12時 / 定員：10人 (申込順)

費用：1人300円 / 持ち物：エプロン、三角巾

(2) ハマナス蒸留水作り

時間：13時~14時 / 定員：10人 (申込順)

費用：1人500円 / 申込期限：9月24日 (土曜日)

申込・問合せ：石狩海浜植物保護センター

主催：はまなすフェスティバル実行委員会

10月8日(土) 10:00~15:00

いしかりUMIBEキッズクラブ 草木染め ~自分で採った 植物で染め物作り

自然が採取した植物を使って自分だけの染め物を作ります

集合場所：海浜植物保護センター

集合時間：10:00 (15:00解散予定)

持ち物：弁当、飲み物

対象：小学生以上

定員：親子5組

参加費：一般500円 会員300円
(別途布代 400円程度)

締切：10月3日 (月)

主催：いしかり海辺ファンクラブ

10月15日(土) 10:30~13:30~

はまなすセミナー ベビーマッサージ ～ハマナスの香りでリラックス

時間 (1) 10時30分~ (2) 13時30分~ 【各90分】

場所：石狩市民図書館 研修室

講師：セントモニカ 七戸千絵さん

対象：0~1歳児と保護者

定員：各10組 (申込順)

参加費：500円 (オイル、茶菓子付)

持ち物：バスタオル

申込期限：10月14日 (金)

申込問合せ：石狩海浜植物保護センター

主催：はまなすフェスティバル実行委員会

10月22日(土) 9:50~12:00

(ボランティア募集) はまなすの丘景観保全作業

はまなすの丘周辺の外来種などの除去作業やゴミ拾いを行います。

※屋外作業ですので、帽子、軍手などを着用し、動きやすい服装でご参加ください。

集合場所：はまなすの丘公園

ヴィジターセンター駐車場

集合時間：9:50

参加いただける方は、人数把握の為、10月20日(木)までに石狩海浜植物保護センターにご連絡ください。

トピックス

センターシンボル塔で蜃気楼確認！？

2016年6月30日、企画展の準備に保護センターを訪れた石川治氏が「今蜃気楼が見えてますよ」。その場にいたメンバーは、シンボル塔へ駆け上がりました。

天気は晴れ。13時26分。まだ水温の低い海面の上に、陸地で暖められた空気が流れ込み、空気の温度差から光の屈折が上下方向に生じ、通常の風景が伸びあがって見えるのが、蜃気楼。この日は、小樽高島岬の先端にある普段は見えない岩が、光の屈折で伸びあがり、島のように見えました。

うーん、知る人ぞ知る……。という感じですが、慣れてくると、条件を備えた天気とよく出現する場所を押さえておけば、石狩浜での蜃気楼観察をマスターできるかも？！



2016.6.30.13:26 蜃気楼で高島岬の先に現れた島。普段は見えない。

※なお、石狩浜からの蜃気楼観察については、石川氏のホームページにて詳しく紹介されています。

<http://www.bannaguro.net/bangai/meet05.html#mirage16>

発行・問合せ・申し込み

● 編集：いしかり海辺ファンクラブ

石狩海浜植物保護センター (開館期間 4/29~11/3、開館時間 9:00~17:00) 毎火曜定休(祝日の場合翌日休)

〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel:0133-60-6107(休館日は以下へ)

石狩市役所環境市民部 環境保全課 自然保護担当

〒061-3292 石狩市花川北6-1-30-2 tel:0133-72-3269

E-mail: ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.html>